

会 議 金 録

様式第 3 号

会 議 名 (審 議 会 等 名)		川西市損害評価会	
事務局 (担当課)		生活・人権部産業労政室農林・労政課 (内線 2 5 6 1)	
開 催 日 時		平成 1 5 年 1 0 月 2 8 日 (火) 午後 4 時 ~ 午後 5 時	
開 催 場 所		川西市役所 地下 B O 2 会議室	
出席者	委 員	正本 啓一・西口 正一・西田 久雄・瀧本 泰博 松井 和繁・今仲 明彦・畑原 博・西野 修・畑中 隆	
	そ の 他		
	事 務 局	畑尾 卓郎・井上 忠弘・金森 修一・田辺 康	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数 0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		<p>議題</p> <p>1 . 平成 1 5 年産水稻損害評価当初評価高 (案) について 諮問 答申</p> <p>2 . 本年度の反省及び次年度の課題について</p>	
会 議 結 果		審議経過のとおり	
事務局 (担当課)		生活・人権部産業労政室農林・労政課 (内線 2 5 6 1)	

司会 金森課長

1. あいさつ 今仲会長あいさつ
畑尾助役あいさつ

2. 協議事項

議長 今仲会長

それでは、ただ今より協議に入ります。不行き届きの点もあるうかと存じますが、皆様のご協力をいただき議事進行につとめますのでよろしくお願いいたします。

議長 それでは、協議事項（１）「平成１５年産水稻損害評価当初評価高（案）について」を議題とします。
この件につきましては、市長より諮問をお受けすることになっておりますので、よろしくお願いいたします。

畑尾助役より市長にかわって、諮問書を手渡す。

議長 ただ今、当初評価高（案）について、市長より諮問をお受けいたしました。諮問内容は、被害状況並びに単位当たり修正量などがございます。事務局より内容説明をお願いします。

事務局（田辺）

被害野帳の提出は、イノシシ１２筆、スズメ７筆、穂いもち８筆、倒伏１筆、冷害１筆の計２９筆でした。

被害深度は、イノシシの被害が甚大であり、収穫皆無が８筆ありました。

被害評価は、９月４日、９月１８日、９月２５日、１０月２日の４日間でした。

被害程度は、

出在家地区 合鴨栽培であるため、肥料不足もあり、単当修正量にて調整する。

西多田・石道地区 イノシシ被害を除き、被害が３０％を超える被害ではなかった。

柳谷・赤松・若宮地区 イノシシの被害が甚大であった。

見野地区 被害が３０％を超える被害ではなかった。

笹部地区 スズメ被害であったが、単当修正量にて調整する。

したがって、単当修正量については、川西Ａ地区（出在家地区）は、７ｋｇを１０ｋｇに修正する。

東谷Ｂ地区（笹部地区）は、５ｋｇを０ｋｇに修正する。

多田Ｂ地区（西多田、石道地区）は、３１ｋｇを３０ｋｇに、多田

Ｃ地区（柳谷・赤松・若宮地区）は、３５ｋｇのまま据え置きに、

東谷Ａ地区（見野地区）は、２４ｋｇを２５ｋｇに修正した。

こうした計算では、1,338kgの減収量になる。
被害率は、0.52%であり、支払い共済金は、297,036円になる。

議長 以上で説明が終わりました。ご質問・ご意見をお受けいたします。

議長 質問がないようですので、裁決をとらせていただきます。
協議事項(1)平成15年産水稻損害評価当初評価高(案)につきまして、ご異議ございませんか。

「異議なしの声」

議長 異議なしのお声がありますので、皆様にお諮りいたします。
諮問の当初評価高(案)については、「適切と認め原案どおり可決・答申する」こととして、ご異議のない方は、挙手をお願いいたします。

「挙手多数」

議長 「挙手多数」ですので、本件につきましては、「適切と認め原案どおり可決・答申する」ことといたします。ありがとうございました。
それでは、答申書を早速、市長に提出させていただきます。

今仲会長より市長(畑尾助役)に答申書を手渡す。

議長 それでは、次に協議事項(2)「本年度の反省及び次年度の課題について」を議題とします。
今年のは稲作は、10年振り不作と言われておりますが、幸い、本市では、全体的には大きな被害・減収もなく良かったと思います。
ただ、一部でイノシシなどの鳥獣被害が今年も発生しましたので、今後の被害対策などについて、ご意見をお願いいたします。

委員(松井) 捕獲等被害対策について事務局にお伺いしたい。

事務局(田辺) 過去、平成11年度から13年度電気柵について、材料の半額補助を行ってきた。黒川・国崎・笹部地区など設置された。
しかし、集落で合意を得ないと実施できないので、予算の消化が半額であった。
今後は、集落の中で検討することが大切である。
なお、農業振興研究会では、捕獲檻について半額助成を行っており、今年、今仲会長の赤松地区に助成を行った。

議長 ほかにご意見がないようですので、以上をもちまして、本日のすべての協議事項が終了いたしました。ご協力ありがとうございました。